

印西地区環境整備事業組合

次期中間処理施設整備事業用地検討委員会

第16回会議 確認資料

目次

次第3 候補地の3次審査（案）について

No. 15 経済性・・・・・・・・・・・・ 1

No. 16 地域社会貢献・・・・・・・・・・・・ 3

平成26年 9月 21日

3次審査 No.15 経済性(案)

No.	最大加点	大項目	最大加点	小項目	評価の考え方	加点
	30点		30点			
15	30点	経済性	30点	概算事業費	用地取得費用、基盤整備費用及び建設費用の合計が安価な候補地が望ましい。	0～30点

単位：百万円

項目		細目	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地	算出方法	
1	用地取得費用 「不動産鑑定（意見書）」		90	180	175	92	—	参考：現在地 1,783百万円 温水センター 505百万円	
2	基盤整備費用	①伐採・除根等及び処分費	65	54	42	19	8	伐採面積から撤去及び処分費を計上。 現在地は、As舗装処分費（テニスコート含む）を計上。	
		②解体工事費（現在地）	1,000	1,000	1,000	1,000	667	解体工事費は10億円を計上。現在地で建替た場合は、対象工事（外構工事等除く）の3分の1が、国の補助金で賄うことが可能。	
		③造成工（切土、盛土、法面整形、緑化）	68	18	70	95	41	概略造成図から数量を算出し施工費を計上。	
		④ブロック積擁壁	18	11	11	32	9		
		⑤基礎工事	(杭基礎)	55	34	55	41	55	杭基礎は既存施設の356本とし、杭長については、既存の地質データを参考に施工費を計上。現在地については建物周りの液状化対策として地盤改良の施工費を計上。
			(地盤改良)	0	0	0	0	411	
		⑥防災調整池工	34	34	35	36	0	用地取得面積から防災調整池の容量を算定し、施工費を計上。なお防災調整池から放流河川までの水路整備については、放流河川や地点及び放流ルートを現段階では設定することが困難であるため概算工事費には含まれない。	
		⑦アクセス道路整備費	23	0	0	44	0	アクセス道路の延長を算出し施工費と用地取得費用を計上。また、軟弱地盤対策として路床改良工を計上。	
		⑧ユーティリティー（上水道、下水道、受電）	24	58	2	81	0	上下水道の引き込み施工費を計上、なお受電費用は不要。（東京電力と協議した結果、現段階では高圧での引き込みが想定されることから費用負担が発生しない。）	
		直接工事費計		1,287	1,209	1,215	1,348	1,191	
諸経費		643	604	607	674	595	直接工事費計×50%で計上。なお諸経費とは、工事に係る共通仮設費、現場管理費、一般管理費及び消費税を示す。		
直接工事費計+諸経費		1,930	1,813	1,822	2,022	1,786			
3	建設費用	ごみ焼却施設156 t/日 リサイクルセンター15 t/日	8,557	8,589	8,557	8,578	8,557	過去の受注実績からごみ焼却施設はt当たり5,000万円、リサイクルセンターはt当たり5,600万円を計上。ただし、⑤基礎工事（杭基礎）が重複していることから杭基礎+杭基礎に対する諸経費も含め控除。なお、物価上昇率等は考慮していない。	
合計			10,577	10,582	10,554	10,692	10,343	概算事業費が最も安価な候補地を「30点」とし、他の候補地は点数を比例配分 30点×最も安価な概算事業費/(当該地における概算事業費)	
評価点			29.34	29.32	29.40	29.02	30.00		
			29	29	29	29	30		

3次審査 No.15 経済性(案)

No.	最大加点	大項目	最大加点	小項目	評価の考え方	加点
	30点		30点			
15	30点	経済性	30点	概算事業費	用地取得費用、基盤整備費用及び建設費用の合計が安価な候補地が望ましい。	0～30点

単位：百万円

項目		細目	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地	算出方法
1	用地取得費用 「不動産鑑定（意見書）」		90	180	175	92	—	参考：現在地 1,783百万円 温水センター 505百万円
2	基盤整備費用	①伐採・除根等及び処分費	65	54	42	19	8	伐採面積から撤去及び処分費を計上。 現在地は、As舗装処分費（テニスコート含む）を計上。
		②解体工事費（現在地）	1,000	1,000	1,000	1,000	667	解体工事費は10億円を計上。現在地で建替た場合は、対象工事（外構工事等除く）の3分の1が、国の補助金で賄うことが可能。
		③造成工（切土、盛土、法面整形、緑化）	68	18	70	95	41	概略造成図から数量を算出し施工費を計上。
		④ブロック積擁壁	18	11	11	32	9	
		⑤基礎工事 (杭基礎)	55	34	55	41	55	杭基礎は既存施設の356本とし、杭長については、既存の地質データを参考に施工費を計上。
		⑥防災調整池工	34	34	35	36	0	用地取得面積から防災調整池の容量を算定し、施工費を計上。なお防災調整池から放流河川までの水路整備については、放流河川や地点及び放流ルートを現段階では設定することが困難であるため概算工事費には含まれない。
		⑦アクセス道路整備費	19	0	0	36	0	アクセス道路の延長を算出し施工費と用地取得費用を計上。
		⑧ユーティリティー (上水道、下水道、受電)	24	58	2	81	0	上下水道の引き込み施工費を計上、なお受電費用は不要。（東京電力と協議した結果、現段階では高圧での引き込みが想定されることから費用負担が発生しない。）
	直接工事費計	1,283	1,209	1,215	1,340	780		
	諸経費	641	604	607	670	390	直接工事費計×50%で計上。なお諸経費とは、工事に係る共通仮設費、現場管理費、一般管理費及び消費税を示す。	
	直接工事費計+諸経費	1,924	1,813	1,822	2,010	1,170		
3	建設費用	ごみ焼却施設156 t/日 リサイクルセンター15 t/日	8,557	8,589	8,557	8,578	8,557	過去の受注実績からごみ焼却施設はt当たり5,000万円、リサイクルセンターはt当たり5,600万円を計上。ただし、⑤基礎工事（杭基礎）が重複していることから杭基礎+杭基礎に対する諸経費も含め控除。なお、物価上昇率等は考慮していない。
合計			10,571	10,582	10,554	10,680	9,727	概算事業費が最も安価な候補地を「30点」とし、他の候補地は点数を比例配分 30点×最も安価な概算事業費/(当該地における概算事業費)
評価点			27.60	27.58	27.65	27.32	30.00	
			28	28	28	27	30	

3次審査 No.16 地域社会貢献
岩戸地区

評価者 _____

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	482 : 岩戸(357) 造谷(55) 柏木台(35) 大廻(35) (2014年7月現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区:人口177,477人(25年度末) ・排熱利用:発生蒸気量130,007t ・熱利用先: 発電(場内)55,381t(42.6%)所内電力77.3% 温水センター 3,880t (3%)約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391t(15.7%)地域冷暖房熱源 場内利用 35,832t(27.6%)プラント、冷暖房 ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町) 小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3Rリユース: 簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上 約20万円
人口重心からの距離	印西市(約2.9km) 白井市(約11.1km) 栄町(約9.4km) 印西地区(約4.4km)	人口重心から各候補地の距離図 参照	
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約2.5km)	
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日):12,053人(2013年度) 市営ふれあいバス 直近のバス停「柏木台」(約400m)	
主な道路状況	候補地東側の県道64号片側歩道(約2m)付 (一部未整備部あり)	幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	住宅数軒(300m) 各町内会ごとに集会所の位置は候補地から約1~2km	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	いんば学舎(社会福祉法人 印旛福祉会 約300m) 学校法人 時任学園(約300m)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	指定避難所:宗像小学校(約2km)※1km内に避難場所等がない	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約400m) 下水道(約200m)	各候補地の図面 参照

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター ・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・道路整備 ・上下水道整備 ・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)

* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
 * 指定避難場所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
 * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

3次審査 No.16 地域社会貢献

滝地区

評価者 _____

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	423 : 滝(124) 宗甫(21) 滝野杜の会(278)	(2014年7月現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等
人口重心からの距離	印西市(約1.7km) 白井市(約11.4km) 栄町(約7.5km) 印西地区(約3.9km)		人口重心から各候補地の距離図 参照
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約1.3km)	—
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日):12,053人(2013年度)	—
		市営ふれあいバス 直近バス停「小林牧場」(約600m)	ふれあいバス運行ルート図 参照
主な道路状況	候補地南側2車線道路は両側歩道(約2m)付	幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	住宅数軒(100m内) NT住宅群(300m内) NT住宅計画(300m内) 宗甫青年館(約200m)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	滝野小中学校(約500m) 印西総合病院(約800m)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	指定避難所:滝野中学校 滝野小学校(約500m)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約700m) 下水道(約450m)	各候補地の図面 参照

・印西地区:人口177,477人(25年度末)

・排熱利用:発生蒸気量130,007t

・熱利用先:
発電(場内)55,381t(42.6%) 所内電力77.3%
温水センター 3,880t (3%) 約15万人の利用者
地域冷暖房 20,391t(15.7%) 地域冷暖房熱源
場内利用 35,832t(27.6%) プラント、冷暖房

・環境学習:
2市1町(印西市、白井市、栄町)
小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度)
春・秋に分けて施設見学(授業の一環)

・3Rリユース:
簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売
25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t
売上 約20万円

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	<ul style="list-style-type: none"> 【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 	<ul style="list-style-type: none"> 【熱供給】 ・地域冷暖房 	<p>0 1 2 3 4 5</p> <p>(効果・優位性・将来性)</p>
ごみ焼却施設の利用形態	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール 	<p>0 1 2 3 4 5</p> <p>(効果・優位性・将来性)</p>
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備 	<p>0 1 2 3 4 5</p> <p>(効果・優位性・将来性)</p>
地域振興(雇用創出を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・道路整備 ・上下水道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場 	<p>0 1 2 3 4 5</p> <p>(効果・優位性・将来性)</p>

* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
 * 指定避難場所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
 * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

3次審査 No.16 地域社会貢献
武西地区

評価者 _____

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	177 : 武西(111) 戸神(66)	(2014年7月現在)	・印西地区:人口177,477人(25年度末) ・排熱利用:発生蒸気量130,007t ・熱利用先: 発電(場内)55,381t(42.6%)所内電力77.3% 温水センター 3,880t (3%)約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391t(15.7%)地域冷暖房熱源 場内利用 35,832t(27.6%)プラント、冷暖房 ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町) 小学4年生(全35校)約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3Rリユース: 簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上 約20万円
人口重心からの距離	印西市(約4.4km) 白井市(約5.7km) 栄町(約13.5km) 印西地区(約2.3km)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等	
アクセス環境	最寄駅から距離	千葉ニュータウン中央駅(約1.2km)	
	公共交通機関	千葉ニュータウン中央駅の乗降者数(1日):30,792人(2013年度)	
		市営ふれあいバス 直近のバス停は「ハートヴィレッジ前」(約200m)	ふれあいバス運行ルート図 参照
主な道路状況	候補地北側の県道190号は両側歩道(約3m)付	幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	NT住宅計画(100m内) 住宅数軒(300m内) 武西集会所(約1km) 戸神集会所(約500m)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	特別養護老人ホーム ハートヴィレッジ(100m) 東京電機大学(約100m)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	広域避難場所:東京電機大学(約100m) 特別避難場所:武西集会所(約1km)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約20m) 下水道(約20m)	各候補地の図面 参照

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター ・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・道路整備 ・上下水道整備 ・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)

* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
 * 指定避難場所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
 * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

3次審査 No.16 地域社会貢献
吉田地区

評価者 _____

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	188 : 吉田(168) 松崎3(20)	(2014年7月現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等
人口重心からの距離	印西市(約3.6km) 白井市(約9.2km) 栄町(約11.6km) 印西地区(約3.7km)		人口重心から各候補地の距離図 参照
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約3.8km)	—
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日): 12,053人(2013年度)	—
		市営ふれあいバス 直近バス停「松崎工業団地」(約800m)	ふれあいバス運行ルート図 参照
主な道路状況	候補地周辺の道路に歩道はない 候補地北側の松崎工業団地内道路に片側歩道(約2m)付	幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	吉田集落(約500m) 松崎3集落(約800m)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	宗像小学校(約200m)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	特別避難所: 松崎むらぐるみ農業集会所(約800m)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約1.3km) 下水道(約1.3km) 吉田球場(約300m)	各候補地の図面 参照

・印西地区: 人口177,477人(25年度末)
 ・排熱利用: 発生蒸気量130,007t
 ・熱利用先:
 発電(場内)55,381t(42.6%) 所内電力77.3%
 温水センター 3,880t (3%) 約15万人の利用者
 地域冷暖房 20,391t(15.7%) 地域冷暖房熱源
 場内利用 35,832t(27.6%) プラント、冷暖房
 ・環境学習:
 2市1町(印西市、白井市、栄町)
 小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度)
 春・秋に分けて施設見学(授業の一環)
 ・3Rリユース:
 簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売
 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t
 売上 約20万円

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房	・植物園 ・バナナ園 ・足湯、温水プール、スポーツジム ・サンセットスパ ・露店風呂、岩盤浴	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター	・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者)	・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備 ・防災訓練所 ・多目的機能の広域避難所	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例: もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・道路整備 ・上下水道整備	・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場 ・パラグライダー ・サイクル駐車場、ロードサービス(道の駅併設)	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)

* 広域避難場所: 大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
 * 指定避難場所: 住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
 * 特別避難所: 福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

3次審査 No.16 地域社会貢献

評価者 _____

現在地

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	1,075 : 小倉台アピック21(665) サンクス千葉ニュータウン中央(410) (2014年7月現在)	候補地の敷地境界から概ね300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区:人口177,477人(25年度末) ・排熱利用:発生蒸気量130,007t ・熱利用先: 発電(場内)55,381t(42.6%)所内電力77.3% 温水センター 3,880t (3%)約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391t(15.7%)地域冷暖房熱源 場内利用 35,832t(27.6%)プラント、冷暖房 ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町) 小学4年生(全35校) 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3Rリユース: 簡易補修及びクリーニング後、希望者に販売 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上 約20万円
人口重心からの距離	印西市(約3.4km) 白井市(約6.6km) 栄町(約12.4km) 印西地区(約1.0km)	人口重心から各候補地の距離図 参照	
アクセス環境	最寄駅から距離	千葉ニュータウン中央駅(約200m)	
	公共交通機関	千葉ニュータウン中央駅の乗降者数(1日):30,792人(2013年度) 駅北口、南口には民営バス及び市営ふれあいバスのバス停がある	
	主な道路状況	候補地周辺の道路に両側歩道(約3m)付 幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	NT高層住宅(300m内) *集会所併設 企業ビル(300m内) 中央駅前地域交流館(約200m)	
	学校・病院等	テナント歯科(100m) 原山中学校(約800m)	
	防 災 (*参照)	広域避難場所:北総花の丘公園(約200m) 指定避難所:原山中学校(約800m) 特別避難所:中央駅前地域交流館(約200m)	
	そ の 他	駅前商業施設(約100m)	

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	町内会・自治会等からの提案	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態 環境学習 福祉関連 情報発信	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町インフォメーションセンター ・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の情報交換コーナー、展示ホール	—	0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援 ・治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)
地域振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・道路整備 ・上下水道整備 ・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場		0 1 2 3 4 5 (効果・優位性・将来性)

* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
 * 指定避難場所とは:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
 * 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。